



ZENBUTSU

# 全仏

No.  
568

仏暦2554年4月  
[2011年]



神奈川県横浜市 地藏坂のお地藏さま — 撮影 仏像ガール®

目次	被災者の皆様へ 全日本仏教会 河野太通会長	2
	日本の方々へ WFB(世界仏教徒連盟)パン・ワナメッティ会長	3
	WFB(世界仏教徒連盟)から、 世界各国に支援要請と人道支援基金一千万円を拠出	3
	各団体の救援に関する取組み	4
	日本宗教連盟主催シンポジウム 「代理出産」の問題点を考える	6
	救援基金へのご協力をお願い	8
	栃木県仏教会より救援基金への寄付	8

# 東北地方太平洋沖地震 及び長野県北部で発生した地震の 被災者の皆様へ

このたびの大地震とそれに続く津波により被災を受けられたすべての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

また、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、深い悲しみにあるご家族や関係者の皆様に衷心よりお悔やみ申し上げます。

被災地では、未だ安否不明の方が多数おられます。その方々のご無事であることと、一刻も早く再会できることを心より願っております。また、負傷された方々など困難な状況にある被災者の皆様に思いを寄せてまいります。

被災地での救助、支援に当たられる関係者の皆様に対して、心から応援申し上げ、加盟団体と協力し、全力を挙げて復興に向けた支援を行ってまいります。

平成23年3月13日

全日本仏教会

会長 河野 太 通

**本会『救援基金』より、  
被災者支援に一千万円を拠出**

本会では国内外における災害救援や人道的支援等に対し、緊急且つ迅速な対応をすべく「救援基金」を常時開設しております。

今回の大災害に対しても、三月十六日に救援基金の約三分の二にあたる一千万円を、被災地の皆様のために有効に使用して頂けるよう、日本赤十字社に寄託しました。今後とも救援基金の募集及び被災者支援を行ってまいります。（関連八頁）

また本会は三月十五日に被災者へ情報提供を目的として、加盟団体に対して各団体が行っている被災者支援に関する情報の提供依頼を行いました。取りまとめた被災者支援に関する情報は今後、本会ホームページ及び機関誌『全仏』にて掲載させて頂きます。

（関連三・四・五頁）

全日本仏教会ホームページ

<http://www.jbfn.jp/>

## 東北地方太平洋沖地震と津波に関して

WFB(世界仏教徒連盟)パン・ワナメツティ会長より

日本の方々へのメッセージ (三月十一日)

世界中で起きている多くの諸問題が世界の平和と安定を揺るがす今日、これほど悲惨でかつてない規模の自然災害の前で人間がいかに無力であるか、また同時に私たちが民族の壁を越え家族であるということを改めて認識いたしました。

家や職場、生活基盤が破壊され、そして何よりも人々の幸せが壊されるのを見て、心痛な思いであります。愛する家族を亡くされた方々の悲しみを思うと、ただ哀惜の念に堪えません。被災した方々の一刻も早い回復のため、適切な支援を得られますことを切に願います。

復興は長期にわたると予想されます。これは日本だけの問題ではなく、可能な限り私たちもご支援させていただきます。

大いなる危機に人々が苦しんでいる時、そこに人種、宗教、文化の隔たりはありません。被災された方々は、私たち自身の愛する家族や友人と何ら変わらないのです。WFBメンバーおよび世界中の人々が日本の悲痛を思い哀しみ、共に分かち合っていると、このことを知って下さい。

世界中から届いているお見舞いやお悔やみのメッセージは、人類が互いに愛する存在であるということを示しています。

日本は長い歴史の中で、大きな苦境に何度も立ち向かい、不屈の精神と高い能力を持ってその都度乗り越えてまいりました。今後一刻も早い復興を心から願う次第であります。

グローバル化が進み世界の国々が繋がっている今日、一国の叫びは世界中に響き渡ります。この度の大惨事は全ての人類に関わるものであります。犠牲者の方々へ衷心より哀悼の意を表し、日本の皆様と共に悲しみ、祈り、目の前の困難に立ち向かっていく所存であります。

仏法のもと敬意をこめて。

WFB(世界仏教徒連盟)会長

パン・ワナメツティ

## WFB(世界仏教徒連盟)から、

### 世界各国に支援要請と

### 人道支援基金一千万円を拠出

今回の大震災に際して、WFBでは三月十二日、世界中のWFB地域センターに救援の為の支援要請を行いました。

また、WFBに常設されている人道支援基金より一千万円を本会宛に寄託、パロップ・タイアリー事務総長より百万円を寄託頂きました。今後、仏教系NGO団体と協力の上、災害支援に役立たせて頂きます。

#### 海外宗派・仏教会よりの

##### お見舞いメッセージが到着

韓国佛教宗團協議會「日本の皆様へ」  
大韓仏教曹溪宗 總務院より「日本地震津波の惨事に対する哀悼文」

大韓仏教天台宗 總務院長より  
「日本の地震津波の犠牲者に対する哀悼文」

韓国仏教太古宗 總務院長より  
「哀悼文」

大韓仏教 眞覺宗「哀悼文」

世界仏教大学(WBU)より、哀悼の意を示すメッセージ

全セイロン仏教会議より、哀悼の意を示すメッセージ

それぞれメッセージを頂きました。全文は全日本仏教会ホームページに掲載させて頂いております。

#### 各加盟団体より

##### 本会「救援基金」へ寄託

金峯山修験本宗	五百万円
西山浄土宗	二百万円を予定
臨済宗建長寺派	一千万円
新潟県仏教会	五万円
栃木県仏教会	百万円
岡山県佛教会	十万円
WFB(世界仏教徒連盟)	
人道支援基金より	一千万円
WFBパロップ・タイアリー事務総長	百万円

今後、幅広く募金を呼びかけていく。(関連八頁)

# 各加盟団体の被災地支援状況について

本会加盟団体、及び関連団体の被災地支援情報を掲載しております。

既に現地では加盟団体・各寺院が様々な支援活動を行っておりますが、三月二十二日現在で確実に確認が取れた情報のみを掲載させて頂いております。詳細に關しましては全日本仏教会ホームページをご覧ください。  
<http://www.jbfn.jp>

## 炊き出し・ボランティア等の支援情報

### 【宮城県東松島市の有志僧侶】

(三月十七日現在)

塩竈火葬場でお亡くなりになった方への読経奉仕を行っている。

#### 参加寺院

西園寺・慈雲寺・金剛寺・天祥寺・松林寺・願成寺・東園寺(臨濟宗妙心寺派)・福定寺(曹洞宗)・雲上寺(浄土宗)・楊岐寺・玉川寺(曹洞宗)法性院(曹洞宗)・慈雲寺(曹

洞宗)・化度寺(曹洞宗)・葬儀社  
 ごんきや・白寿殿

### 高野山真言宗(三月二十二日現在)

三月十四日、災害対策本部を高野山東京別院に設置決定。三月十八日、いわき市の避難所九カ所に救済物資を届けた。(食糧・ガソリン・水・発電機・投光器・使い捨てカイロ等)

### 真言宗豊山派(三月二十二日現在)

東日本大災害災害対策室を設置。真言宗豊山派仏教青年会と連携し被害状況を調査・確認中

### 浄土宗(三月十五日現在)

東京・千葉・埼玉・神奈川・静岡の五教区において、被災者受け入れを行っている寺院を募集中。

### 浄土真宗本願寺派(三月十六日現在)

三月十四日、復旧支援隊が石巻市被災地に入り避難所の石巻市立女子高校並びに県立石巻高校へ、

飲料水や食料品を届ける。また、仙台別院前にて炊き出しを行った。

### 曹洞宗(三月二十二日現在)

三月十二日、曹洞宗災害対策本部を設置。十六日から二十二日まで、曹洞宗災害対策本部員の神野財政部長がシャントイ国際ボランティア会(SVA)職員と被災地に入り、地震災害の情報収集を行う。青年会等では、被災地に救済物資を届けるなどのボランティア活動を行っている。

### 日蓮宗(三月二十日現在)

岩手県内に於いて避難者の受け入れを行っている。下閉伊郡の善慶寺七十七名、釜石市の仙寿院約七百名、大船渡市 本増寺にて。問い合わせ先

〇三―三七五一―七一八一

日蓮宗宗務院内災害対策本部

### 長野県仏教会(三月十五日現在)

上伊那仏教会青年部が三月二十一日〜二十五日、石巻市にて炊き出しを実施。一日一〇〇〇食、合計五〇〇〇食にて実施。

その他、現地にてガレキ撤去活

動を行う。

### 全日本仏教青年会(三月二十二日現在)

社会福祉協議会と連携して活動。各被災地において炊き出し、配給活動等行う。現在、現地会員により被災者のニーズ調査。必要物資を搬入。

### 避難者の受け入れについて

(三月十七日現在)

千葉県松戸市役所防災課にて、福島県からの避難者の受け入れを行ってくれる寺院を募集中。現在東漸寺が二十一名、栄松寺が二十五名を受け入れている。(電話〇四七―三六六―七三〇九防災課担当 谷口様)

こうした各寺院の避難者受け入れに關して、本会では行政より要請を頂き協力寺院を募集する、という形での協力を今後進めていく予定。

## 救援物資搬送、現地に 入っての支援活動等の情報

### 念法眞教(三月二十日現在)

災害対策本部(金剛寺内)を設置し、末寺である鹿沼念法寺(栃

本県)へ現地本部を設置して情報収集にあたった。また、長靴二〇〇足・水(五〇〇ペットボトル)九六〇本・毛布六〇枚・義援金を「関西仏教懇話会救援隊」へ託し現地へ寄託。他、支援物資(米・水・毛布・トイレットペーパー・長靴)の準備を完了し、大阪市からの受け入れ体制を待つて順次支援を行う。

#### 浄土宗(三月十八日現在)

福島県河沼郡の光明寺を拠点として災害救援物資(毛布・水・その他)を搬送、現地にて配布を行う。

#### 真宗大谷派(三月二十二日現在)

職員を被災地域へ派遣し、三月十二日に災害救援物資(タオル・ブルーシート等)を搬送。

翌十三日災害救援物資(毛布・水・タオル・ビニールシート等)の搬送。十四日以降も、災害救援物資(第三陣)を追加搬送する予定。

現地で物資の配付や復興に向けて、各寺が被災者へ様々な活動を協力しながら行っている。宗派諸施設及び別院・寺院教会において被災者の受け入れを開始。詳細はホームページ

ムページに掲載されている諸施設に直接問い合わせを。

#### 全国浄土宗青年会(三月十八日現在)

セカンドハーベストジャパン(<http://www.2hj.org>)を經由して各地区で収集した物資の送付を三月十四日から開始。また、総本山知恩院と協力し、二十二万個の携帯用カイロ、飲料水(ペットボトルの水・お茶各一万本)、毛布を被災地に届ける。

#### 臨済宗妙心寺派(三月十六日現在)

宗務本所より慰問調査団が被災地入りし、福島県郡山市建福寺・宮城県宮城郡利府町天祥寺に災害対策本部を設置。避難所として定林禅寺が約四百人、華藏寺が約百人を受け入れ中。

#### 法華宗本門流(三月十五日現在)

北茨城市成顕寺が避難所となっており、救援物資を輸送中。

#### WFB(世界仏教徒連盟)

世界各国のWFBセンターに対し、日本の震災に際して支援を要請。(関連三頁)

## 安否情報、被害情報等について

各宗派のホームページ上に安否情報の掲載を行っている。また、被害情報や災害情報の連絡フォームを用意している宗派も多数。三月二十二日現在で高野山真言宗・真言宗智山派・真言宗豊山派・浄土宗・浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・臨済宗妙心寺派・曹洞宗・日蓮宗が掲載及び情報収集を行っている。

## 日本赤十字等の支援団体へ直接寄託を行った団体

### 天台宗

NHK、中央共同募金会に三千万円を三月十六日に寄託

### 真言宗豊山派

「福祉基金」より義捐金五百万円を日本赤十字社に寄託

### 真言宗善通寺派

二十九万六千三百九十四円(三月十五日現在)の義捐金を四国新聞社を通じて、日本赤十字へ寄託。今後、本山・職員からも義捐金寄

託の予定。

### 浄土宗西山禅林寺派

日本赤十字社へ寄託

### 浄土宗西山深草派

百万円を予定(法然上人八百回御遠忌法要で救援募金及び本山拠出金)また、新京極商店組合との共催でチャリティコンサートを開催し救援募金活動を予定

### 浄土真宗本願寺派

東北教区及び東京教区に設置した現地緊急災害対策本部に一時見舞金三千万円交付を決定

### 曹洞宗

曹洞宗義援金より一千万円を日本赤十字社に寄託。福島・宮城・岩手の各宗務所に救援活動費三百万円を支出する

引き続き、本会では加盟団体の支援情報を募集しております。メール、もしくはFAXで情報をお寄せ下さいませ。

全日本仏教会 広報文化部  
FAX 03-3437-3260  
kouho@jbfne.jp

**日本宗教連盟主催 第五回宗教と生命倫理シンポジウム**  
**「代理出産」の問題点を考える ― 生殖補助医療といのちの尊厳 ―**

日本宗教連盟（山北宣久理事長）は二月二十五日、標記シンポジウムを國學院大學にて開催、宗教者・一般参加者約二〇〇名が参集した。

パネリストとしては、

- ・久具宏司氏（東京大学医学部附属病院講師）
- ・今岡達雄氏（浄土宗総合研究所主任研究員）
- ・根津八紘氏（諏訪マタニティクリニック院長）
- ・金子昭氏（天理大学おやさと研究所教授）
- ・柘植あづみ氏（明治学院大学社会学部社会学科教授）

の五名、コーディネーターとして島蘭進氏（東京大学大学院人文社会科学系研究科教授）がそれぞれの立場より医療、科学の視点と宗教的な視点を交えつつ討議が進行された。

久具氏は、代理出産に関する多くの問題の中でも代理懐胎を依



頼する女性（適応者）に明確な基準が無いことを指摘し、「適応者について合理的な根拠を示す事が難しい」と述べた。また、これまでのデータの蓄積が少ないことからリスクを正確に予測できない事にも触れた上で、「代理出産をやっているのかを倫理、宗教、民俗の視点から新たな議論を期待したい」と代理出産に慎重な立場を示した。

根津氏は実際に独自のガイドラインを設け代理出産を行っているが、患者と真摯に向き合った結果

と強調。もし国内の代理出産を禁止しても海外渡航しての代理出産は止められないとして、「営利目的や商業目的による代理出産を禁止する国内の法整備を」と訴えた。

今岡氏は百四十六教団を対象に平成二十二年に行ったアンケート結果を報告。多くの教団がこの分野の研究が進んでいない事を明らかにした。その理由として、「いのちの始まり」については教義上あまり触れられておらず、積極的な発言が難しいのでは、という見解を示した。

金子氏は「生殖は夫婦の努力の範囲に限定するのが本来の立場」であり、大切なのは単に産むことだけではなく、育てて成人へと向かわせる事が重要だ、と代理出産に反対の立場を示した。宗教団体で行っている、虐待などで親元で暮らせない子ども達を育てる活動を紹介し、「宗教は心魂の救済の根本に立ち返って、幸せな生き方、多様な生き方の選択肢を提示すべき」と述べた。

柘植氏は女性が「産めない」こ

とに対し、男性や社会が差別意識を持っていないかを問うと共に、諸外国の代理出産等の具体的事例に関して紹介。「代理出産について考えることはどのような社会を築いていくかを考えること」と述べた。

各氏の発表の後パネルディスカッション・質疑応答が行われ、「社会は欲望を解放する装置だが、人間の成熟が問われる。そのブレーキは宗教ではないか（金子氏）」「海外では、結局お金でなんとかなる、もしくは何とかするケースも多い（柘植氏）」

等々、様々な立場からの意見及び質問に対する回答が行われ、約四時間に渡るシンポジウムは閉会。本シンポジウムを主催した日本宗教連盟では、本シンポジウムの内容や、当日行えなかった質疑応答について収録したリーフレットを作成予定。配布に関してはホームページ上で後日告知する。

日本宗教連盟ホームページ  
<http://www.jaoro.or.jp/>

# 事務総局録事

## 二月（十五日～二十八日）

- 十六日 ▼ 大和証券来局
- 十八日 ▼ スリランカ名誉総領事メダガマリガマゲリスギル氏他三名来局
- 二十一日 ▼ オメガコム来局
- ▼ 東映来局
- 二十二日 ▼ 全日本葬祭業協同組合連合会と懇談会（品川プリンス）
- 二十三日 ▼ BNN事業推進会議出席（長専寺）
- ▼ 自由民主法曹団二月定例会出席（自由民主党本部）
- ▼ 宗教法人審議会出席（文化庁宗務課）
- 二十四日 ▼ 部落解放・人権研究所第七三回総会出席（リバティおおさか）
- ▼ 無料法律相談（長谷川法律事務所）
- 二十五日 ▼ 浄土門主・知恩院門跡伊藤唯眞猊下晋山奉告法要大矢副会長参列（知恩院）祝賀会出席（ウエステイン都ホテル京都）
- ▼ 日本宗教連盟主催第五

回宗教と生命倫理シンポジウム―「代理出席」の問題点を考える―出席（國學院大學常盤松ホール）

## 三月（一日～十五日）

- 一日 ▼ 局内会議
- 二日 ▼ 部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会第二十八回拡大役員会出席（松本治一郎記念会館）
- ▼ 自民党「日本を立て直す懇談会」出席（自由民主党本部）
- ▼ 損保ジャパン来局
- ▼ 第四回国際交流審議会
- 三日 ▼ 部落解放同盟第六八回全国大会出席（九段会館）
- ▼ 浄土宗宗議会議事説明出席
- ▼ 全日本仏教青年会主催TERRAへ祈る（恵比寿ガーデンホテル）後援
- ▼ 平成二十二年第三回広報委員会（Tジョイ京都）
- ▼ 「手塚治虫のブツダ」試写会（同）
- ▼ 平成二十二年度第二回事務総局連絡会議（同）
- ▼ 平成二十二年度京都宗教記者懇談会
- 四日 ▼ 妙心寺ツアール協力寺院挨拶

回り

- 七日 ▼ 臨済宗天龍寺派宗務総長と面談
- ▼ 河野太通会長・東映岡田裕介社長対談（妙心寺）
- ▼ 第四回宗教教育推進委員会
- 八日 ▼ 日蓮宗宗議会出席
- ▼ 民主党山根議員来局
- ▼ 国連UNHCR協会来局
- ▼ 栃木県仏教会塚田理事長来局
- 九日 ▼ 東映来局
- ▼ 前進座創立八〇周年記念祝賀会出席（東京會館）
- ▼ 近畿府県仏教会連絡会議・関西支局運営委員会・局内会議出席（京都近又）
- ▼ 朝日ビジネスソリューション来局
- ▼ 強制連行・企業責任追及裁判全国ネットワーク上杉氏・持橋氏来局
- 十日 ▼ 春季慰霊大法要参列（東京都慰霊堂）
- 十一日 ▼ 第二回事業推進会議
- ▼ 東日本大震災発生のため、帰宅困難者への援助活動（明照会館において）
- 十三日 ▼ 災害対策臨時局内会議
- 十四日 ▼ 日本赤十字社訪問
- ▼ 東映来局
- ▼ 四季社来局

このたびの大地震とそれに続く津波により被災を受けられたすべての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

三月十一日。日本に住む私たちにとって、忘れられない日となりました。私は埼玉県で講演があり、話し終わった一分後に地震が起きました。今まで体験したことのない大きな揺れに、会場のみなさんも慌てて外へ避難し、私も近くのお寺さんへ避難させていただきました。

余震が続く中、寝たのか寝ていないのか分からないまま迎えた朝外に出ると、朝日がとてもきれいに輝いていました。いつも通り、キラキラと。残酷なようにも感じられましたが、これが「自然」なのだとはつきました。

人間は、いろんな技術を身につけて、まるで万能になったかのような錯覚をしてしまいがちになります。でも、私たちは「大自然」の中で生きている。当たり前のことだけれど、つい忘れそうになるこの事実が、心にズシンと響きました。

そして、どんな状況になっても朝日は必ず昇るということ。被災地にいらっしやる方々に一日もはやく、安心できる毎日が戻りますように。どうか希望を捨てずにいていただけたらと、心から願っています。

仏像ガール®

## 東北地方太平洋沖地震及び長野県北部で発生した地震に関する救援基金募集のお知らせ

平成23年3月11日に宮城県沖で起きた大地震と大津波、及び12日未明に長野県北部で発生した大地震にて、被災にあわれた方々に心よりお見舞いを申し上げます。現在、多くの被災者への物心両面での救援が火急に必要とされる状況下にあります。

本会では国内外における災害救援や人道的支援等に対し、緊急且つ迅速な対応をすべく「救援基金」を常時開設しております。今回の大災害に対しても、3月16日に救援基金の約3分の2にあたる1千万円を、被災地の皆様のために有効に使って頂けるよう、日本赤十字社に寄託しました。今後も、現地の被災者に最も役立つ方法を仏教系NGO団体等と協力しつつ、被災者支援を継続して行っていきます。

については今回の大災害に対し、加盟団体、各ご寺院、檀信徒、門信徒のみならず、そして宗派・宗教を超えて、みなさまの温かい浄財をお寄せ頂ければ幸いです。

尚、救援金は下記口座までお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

※指定寄付の場合は「東日本大地震」と振替票にご記入ください。

合 掌

記

### 郵便振替口座

口座番号：00110-9-704834

口座名義：全日本仏教会救援基金

### お問い合わせ先

財団法人 全日本仏教会事務総局

電話 03-3437-9275

FAX 03-3437-3260

※救援・復興支援状況は全仏誌及び本会ホームページで逐次報告させていただきます。



陸前高田市：被災の様子（慈恩寺）

## 栃木県仏教会より救援基金への寄付

3月8日本会へ救援基金として100万円の寄付を、栃木県仏教会理事長塚田宗雄師より頂戴し、戸松義晴事務総長に手交いただきました。

先般開催された第41回全日本仏教徒会議栃木大会において集められた大切な浄財を、災害救援や人道的支援に迅速に対応するべく「是非ともお役立て頂きたい」とのお言葉を塚田師より頂戴致しました。

### 「救援基金」寄付者名（2月1日～3月23日）

WFB人道支援基金・パロップ・タイヤリーWFB事務総長・栃木県仏教会・新潟県仏教会・岡山県佛教会・財)国際仏教興隆協会・金峯山寺・建長寺・西山浄土宗 東光寺・柳浦俊静・小坂井左千雄・株式会社 福生・心光院・正本乗光・霊岩寺 川橋正秀・中村澄枝・松山公顯・Hakuin-Zen-Gemeinschaft Deutschland

(順不同・敬称略)

(合計 29,366,110円) ご支援誠に有り難うございました。

